

世界基金支援日本委員会は、世界エイズ・結核・マラリア対策基金(世界基金)を支援する日本の民間グループとして2004年3月に設立されました。森喜朗元総理を会長に、各界を代表する委員で構成され、(財)日本国際交流センターが事務局を務めています。以下を目的に、日本と諸外国の議会関係者、国際機関、研究者、NGO、財団、メディア、企業の参画と協力のもと、政策対話や共同研究、国際シンポジウム、視察プログラムを実施しています。

- エイズ、結核、マラリアの三疾病に対する意識喚起と日本の役割の向上
- 人間の安全保障上の課題である感染症問題に対する多様なセクターの参画促進
- 世界基金に対する理解と協力の促進
- 東アジア域内協力と、アフリカなど他地域との地域間協力の強化

#### (財)日本国際交流センター

日本国際交流センター(JCIE)は、国際関係や政治・経済・社会など幅広い政策課題をめぐり日本と諸外国の相互理解と協力関係を促進することを目的に1970年に設立された民間の事業型財団。国内外の機関との幅広い協力により、国際的な政策対話や共同研究、議会関係者の交流・対話、民間非営利セクターの強化や地域社会の国際化を目的とした調査・交流・助成など、非営利・非政府の立場から幅広い国際交流事業を実施している。

#### 世界エイズ・結核・マラリア対策基金(世界基金)

The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria

世界の三大感染症といわれるエイズ、結核、マラリアは、世界で年間500万人の命を奪い、途上国の開発にとって重大な障害要因となっています。世界基金は、開発途上国の感染症対策を支える資金を提供する民間機関として、2002年にスイス・ジュネーブに設立されました。

その設立の発端となったのは、2000年の九州・沖縄サミットであったといわれています。サミットとしてはじめて、開発の主要課題に感染症が取り上げられ、国際社会が、途上国の感染症対策のために追加的な資金を動員することの必要性があらためて確認されました。このサミットを機に、基金創設にむけての議論が本格化し2002年1月の世界基金設立に至りました。

現在、世界基金では、各国の政府をはじめ民間財団、企業などからの拠出金をもとに、開発途上国の政府やNGO、宗教組織などによる感染症の予防、治療、感染者支援のための活動に資金を提供しています。これまでに、世界140カ国の約740プロジェクトに対して総額約150億ドルの支援が承認されています(2009年6月現在)。世界基金の支援を受けた事業により、これまでに、350万人の命が救われたと推定されています。

URL: [www.theglobalfund.org](http://www.theglobalfund.org)

#### 世界基金支援日本委員会

〒106-0047東京都港区南麻布4-9-17

(財)日本国際交流センター内

Tel: 03-3446-7781

Fax: 03-3443-7580

URL: [www.jcie.or.jp/fgfj/](http://www.jcie.or.jp/fgfj/)

e-mail: [fgfj@jcie.or.jp](mailto:fgfj@jcie.or.jp)



Friends of the Global Fund, Japan  
Joining the Fight Against AIDS, Tuberculosis, and Malaria

世界基金支援日本委員会

## 主な活動

### 地域間協力の促進

地球的課題である三大感染症への効果的な取り組みを訴え、地域間の協力の促進に努めています。

- 東アジアにおける三大感染症の流行とその対応に関する調査
- アジアとアフリカを始め、三大感染症への対応における機能的な地域間協力の推進



当委員会主催会議における小泉総理(当時)のスピーチ

### 議会関係者の理解促進

当委員会内に超党派の国会議員をメンバーとした議員タスクフォース(幹事・逢沢一郎議員)を設け、国会議員の感染症問題に関する理解を深め政策議論に活かすことを目的に、以下の活動を行っています。

- 世界基金関係者によるブリーフィング
- 諸外国の議員や国際機関の代表との会合
- 世界基金支援プロジェクトの視察

### シビル・ソサエティの取り組みの促進

三大感染症へのグローバルな取り組みにシビル・ソサエティがより活発に参画できるよう、保健分野で活動する日本のNGO関係者との協力を促進しています。



国会議員と懇談するアケド・イケンバ氏(世界基金支援アフリカ委員会創設者)

### 企業の取り組みの促進

グローバル企業がビジネスを展開する上で避けて通れない課題である感染症について、日本の経済界の意識喚起に努めています。

- 企業による三大感染症への取り組みの事例調査
- 海外企業関係者を招いての国際シンポジウムの開催
- 職場におけるエイズ対策やCSR活動としての三大感染症への取り組みに関する助言

### 広報

世界基金および三大感染症に関する情報を定期的に提供し、世界基金や国際保健に関する報道を高め、国内理解の促進に努めています。

- 世界基金関係者による日本のメディアへのブリーフィングや取材への協力
- 世界基金の主要プレスリリースや刊行物の翻訳
- ウェブサイトや報告書を通じた世界基金および三大感染症に関する情報提供




ANAグループ機内誌「翼の王国」掲載広告


### 「人間の安全保障」と感染症に関する調査・研究


エイズをはじめとする三大感染症を「人間の安全保障」上の課題と位置づけ、その考え方を反映した、より効果的な対応のあり方を検討すべく事例調査やワークショップ等を実施しています。





### 出版物


 Building Resilience: Human Security Approaches to AIDS in Africa and Asia  
「人間の安全保障」アプローチで取り組むエイズ:アジアとアフリカの事例から (和文、PDF版のみ)


 Fighting a Rising Tide: The Response to AIDS in East Asia

 迫りくる東アジアのエイズ危機  
(連合出版刊)

 ジョージ・ソロス 投資と慈善の哲学 (NHK出版刊)

 East Asian Regional Cooperation in the Fight Against HIV/AIDS, Tuberculosis and Malaria

 CSRの行動課題としての感染症

 世界基金パンフレット和文版監修